



主催：日本都市計画学会東北支部

後援：福島大学

日本都市計画学会東北支部シンポジウム

原子力被災 12 市町村の復興の現状と課題

— 復興期間の終了後における福島復興政策のあり方を検討する —

■日 時：2019年11月16日（土）13時～16時

■場 所：福島大学 M棟 24室（福島市金谷川1番地、東北本線「金谷川駅」から徒歩10分）

■プログラム：

1. 開会の挨拶
2. 趣旨説明 川崎興太（福島大学准教授）
3. 講演

- ①加松正利（福島復興局長）
- ②鈴木 浩（福島大学名誉教授）
- ③宮本皓一（富岡町長）
- ④遠藤雄幸（川内村長）

4. ディスカッション

コメンテーター：間野博（福島大学うつくしまふくしま未来支援センター客員教授）

パネリスト：加松正利、鈴木浩、宮本皓一、遠藤雄幸

コーディネーター：川崎興太（福島大学准教授）

5. 閉会の挨拶

■資料代：1000円

■懇親会：シンポジウムの終了後に開催

【お申込み・お問い合わせ】

参加をご希望の方は、お名前、ご所属、懇親会へのご出席の有無をお書きの上、下記までメールでお申し込みください。

・お 申 込 先：日本都市計画学会東北支部事務局 cpij.tohoku@gmail.com

・お問い合わせ先：川崎興太（福島大学） kawasaki@sss.fukushima-u.ac.jp